

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

# BOOK NO. 17

BOOK は図書館のワクワクを皆さんにお伝えるメディアです。皆さんが図書館に感じるワクワクも教えて下さい。知らない人に教えてあげましょう。

2014年12月20日発行 / 隔月刊  
発行 & 編集 = 山形村図書館

図書館は  
あそび場!?!  
なにかたのしいことが待っているよ。



支援が必要な  
子どもたちのこと、  
まず知ることで始まります。



11月の人権月間に合わせて、「本と子どもの発達を考える会」からお借りした本を展示しました。

ひとりひとりの個性を大切にした子育てを願う大人のみなさんが、たくさん手に取られていました。相手のことを知ることで、あるがままに受け止められ、もっと自由になのしく過ごせる工夫を考え出せそうです。



## たくさんさんのポップで 本と人の橋渡し

秋の読書週間企画「大人の読書のしめブック」がじわじわと人気でした。利用者のみなさんのおすすめの本をポップにしていたとき、本に付けて展示したところ、次々と借りられていきました。個性豊かなポップにつられて、今まで読んだことのない分野の本に手が伸びる楽しみ。あなたはいくつの新しい扉を開きましたか？

## 心に残る詩

須永恵次 選 図書館を愛する会

震えるほどに共感出来る詩、あなたの背中をそっと後押ししてくれる詩との出会いは、きつとあなたを幸せにしてくれる。そんな詩を求めて……。

最近「教科書で出会った名詩100」(石原千秋監修)を読みました。これまでもコラムで紹介した詩の多くが教科書に載っているのを知りました。教科書で私は多くの詩を覚えたのかもしれない。今回はその本から私が知らなかった国木田独歩の一編をお届けします。

### 山林に自由存す

国木田 独歩

山林に自由存す

われ此句を吟じて血のわくを覚ゆ

嗚呼山林に自由存す

いかなればわれ山林を見すてし。

あくがれて虚栄の途にのぼりしより

十年の月日塵のうちに過ぎぬ

ふりさけ見れば自由の里は

すでに雲山千里の外にある心地す。

背を決して天外をのぞめば

をちかたの高峰の雪の朝日影

嗚呼山林に自由存す

われ此句を吟じて血のわくを覚ゆ。

気まぐれ不定期連載  
図書館の風景…⑤

# 結成！ 十六武蔵を 広める会



図書館で今静かなブームを(司書が)巻き起こしているのが「十六武蔵(じゅうろくむさし)」

モモセが小学校のとき、プールの休憩時間といえばこれでした。プールサイドのセメント板に右で線を引き、飽くことなく遊んでいました。

山小出身者ならだれでも知っていると思う、「やったよね」と同意を求めると、知らない派多数で意気消沈。「やったーやったー」と同意してくれたのは年齢層がだいぶ上の人たちでした。

昔々の話かと思いきや、「私もやりました」と30代ママさんが盛り上がりつつ、味方を得たりとにんまりしたモモセです。

ネットで調べたところによると、



江戸時代にはあつた遊びのようです。板上に写真のように線を引き、親子に分かれて対戦するボードゲームです。

「絵本であそぼ どんぐり工作」の折に、「図書館を愛する会」の木工名人に作ってもらい、どんぐりを駒にして遊んでいます。

さっそく小学生が「これなあに？」と飛びついてくれました。「一回対戦すれば簡単にルールを覚えられます。」

小学生といえども全く手加減しないモモセです。絶対的な強さで君臨しようと思ったのに、数回対戦すると、ぼろぼろ負けてしまい悔しいです。

昔懐かしのゲームを再び広めようと「十六武蔵を広める会」を勝手に結成し、今のところモモセが会長で、小学生の副会長と書記の三役がいます。負けがこむと「会長」の座が危うくなりそうです。

図書館カウンターに常時置いてありますので、遊んでみてください。

## 「ほつとたいむ」

ラクガキ屋Māru  
(イラストレーター村内在住)



よいお年を……⑥

なつかしきわが故郷は何処ぞや  
彼処にわれは山林の児なりき  
顧みれば千里江山  
自由の郷は雲底に没せんとす。  
詩集「抒情詩」から

「俺、マジでサッカーが好きなんですよ」とその年限りで退団するチームのサポーター達に残して、「一人のリーダー」が松本山雅にやって来た。この本は、松田直樹さんのマリノス退団から次のチームに決まるまで、そして松本山雅に入団してからの友人や後輩達と接してきた彼

## 「松田直樹を忘れない。」

「闘争人」永遠の章」  
二宮寿朗



## 私のこの一冊 田中精一 図書館利用者

の輝いていた時間の記録です。松本のチームにそしてサポーターに強力な思いを残して逝った松田さんの夢、そこから1へ、山雅を全国区への思いが来シーズンいよいよ始まります。その前にこの本を読んで思いにふれてはどうでしょうか。



## 10・11月の貸出ベスト10

- 1位 わたしの愛用品 / 地球丸
- 2位 芥川 症 / 久坂部羊
- 3位 明日の子供たち / 有川浩
- 4位 安曇野便りの心地いい家  
しごと / 徳田民子
- 5位 荒神 / 宮部みゆき
- 6位 ダブル・フォールト  
 / 真保裕一
- 7位 天に星 地に花  
 / 帯木蓬生
- 8位 捜査組曲 / 今野敏
- 9位 伝説のエンドーくん  
 / まはら三桃
- 10位 日本人の知らない日本語  
 / 蛇蔵

## 1月のお楽しみ企画

## 「自分だけの蔵書印を作ろう」

消しゴムはんこで蔵書印を作ります。  
自分のお気に入りの本にベタリ！  
どうぞ。

期日：1月24日（土）10時から12時

場所：トレーニングセンター

講師：やざきなおみさん

材料費：600円

対象：カッターを使うので、  
小学生以上。

定員：15名(定員になり次第しめきり)

## ◆ 今月の図書館川柳

長トイレ

書斎兼用 本を読む

(光男) 川柳あららぎ

## おねえさん、おすすめ新着本



「跳びはねる思考」東田直樹  
自閉症の青年の内側に、こんなにも言葉はあふれていた。



「子どもの写真整理術」Emi  
デジタル時代の写真整理術。ゆる〜いルールで、しまじこむより楽しむアルバム作りのヒントが満載。



「ハクチョウ水辺に生きる」嶋田哲郎  
長野県にもわたつてくるハクチョウウツて、どんな鳥？この正面の顔いでしょ！



「鉄道記」真島清秀  
人々や自然とかかわる鉄道の写真がいっぱいに広がります。ああ、子どもたちに見せてあげたい。



「マッサンとリタ」川嶋康男  
NHKドラマでおなじみになった、ニッカウチスキの創始者夫妻の軌跡。



「トオリヌケキンシ」加納朋子  
人にはわかりにくい困難を抱えた人々、でも出口はきつとある。安堵感がわいてくる6つのおはなしです。

## 図書館からのお知らせ

## ① 年末年始のお休み

12月28日（日）から1月3日（土）までお休みになります。みなさまよいお年をお迎えください。

4日（日）にお待ちしています。

## ② 予告！「絵本であそぼ！冬編」

「びゅんびゅんごまがまわったら」（林明子）の絵本から、びゅんびゅんごま作りをします。

2月中を予定しています。

くわしいことが決まり次第、お知らせします。お楽しみに。

## ③ 今年も「水田農業経営確立推進指導事業補助金」をいただきました。

広く農業関係、地域活性化に役立つ本を充実させました。心ひかれるタイトルがいっぱい。図書館のテーマコーナーに広がっていますので、ぜひご覧ください。